

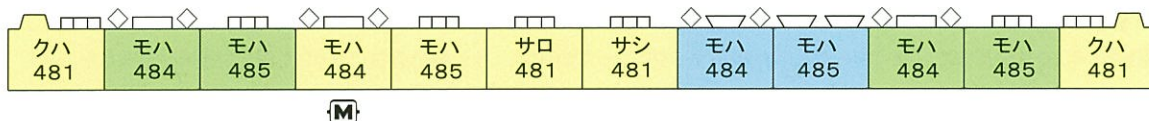
■ 今回の485系は、485系全般をカバーするために、後期形のクーラーと”電気釜”の愛称で親しまれた非貫通形 300 番台を新リリース!!
 編成のバリエーションをお楽しみいただくために、増結セットは後期形と初期形の2種類を、単品でサロ481後期形とボンネット形先頭車のクハ481 100 番台をご用意しました。
 往年の国鉄特急を再現する485系決定版の登場です。

485系300番台 東日本編

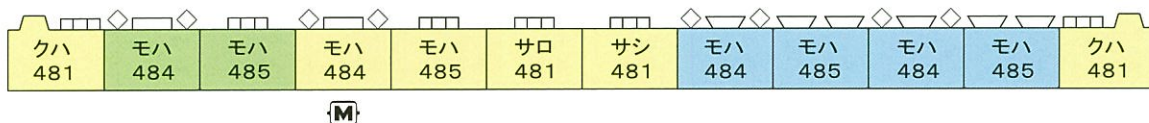
イラスト入ヘッドマークとなった昭和53年頃が中心の編成図です。
 ご購入時のガイドにご活用ください。

- #10-1128 485系 300 番台 6両基本セット
- #10-1129 485系後期形 2両増結セット
- #10-1130 485系初期形 2両増結セット
- #4570 サロ481 後期形
- #4550 クハ481 100 番台

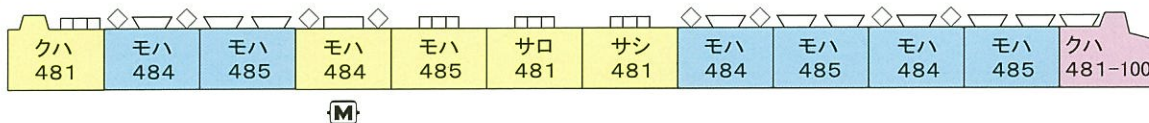
■お薦め編成



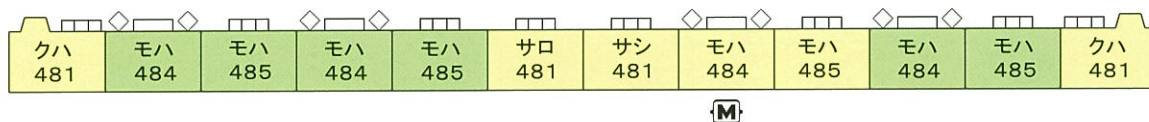
- ひばり 上野⇄仙台（東北本線経由）
- はつかり 上野⇄青森（東北本線経由）
- やまびこ 上野⇄盛岡（東北本線経由）
- いなほ 上野⇄秋田・青森（上越・羽越線経由）
- 鳥海 上野⇄青森（上越・羽越線経由）※昭和57年頃



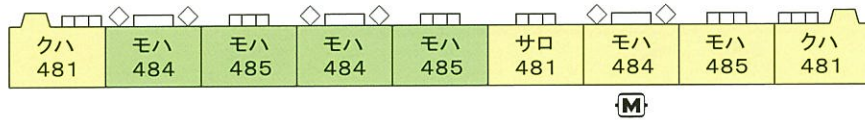
- ひばり 上野⇄仙台（東北本線経由）
- ひたち 上野⇄平・原町・仙台（常磐線経由）



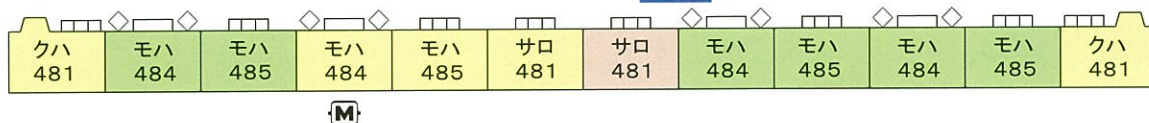
- やまばと 上野⇄山形
- つばさ 上野⇄秋田（奥羽本線経由）※実車は 1000 番台



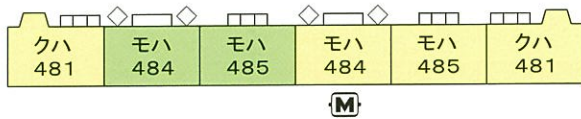
- あいづ 上野⇄会津若松
- やまばと 上野⇄山形
- つばさ 上野⇄秋田（奥羽本線経由）※実車は 1000 番台



- はくたか 上野⇄金沢（上越線経由）※実車は489系



- たざわ 盛岡⇄秋田 ※昭和57年頃



■国鉄を代表する特急形電車の485系は、交流・直流の両電化方式での走行が可能で、北海道から九州まで、四国を除く全国各地で様々な列車で活躍しました。もちろん KATO の485系には、4列車が再現可能な独自の交換マークを装備。さらに多くの列車を再現できるよう、別売部品としてトレインマーク2種類を同時発売いたします。

■#11-324 トレインマーク485系ボンネット用（国鉄・イラスト）12種類

■#11-325 トレインマーク交換装置485系 300 番台用（国鉄・イラスト）16種類



国鉄時代の昭和53年（1978）10月のダイヤ改正以降のイラスト入トレインマークを収録しています。

485系300番台 西日本編

イラスト入ヘッドマークとなった昭和53年頃が中心の編成図です。ご購入時のガイドにご活用ください。

■ #10-1128 485系 300 番台 6両基本セット

■ #10-1129 485系後期形 2両増結セット

■ #10-1130 485系初期形 2両増結セット

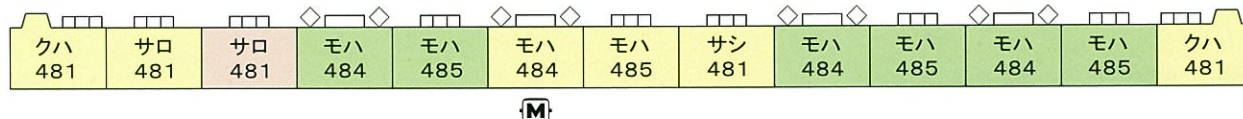
■ #4570 サロ481 後期形

■ #4550 クハ481 100 番台

■白鳥 大阪⇄青森 ☆大阪⇄新潟間逆編成



※13両編成は昭和53年10月改正まで（文字マーク）。イラストマークになってからは、サシ481を抜いた12両編成で運転されました。



■雷鳥 大阪⇄金沢・高山・新潟

■しらさぎ 名古屋⇄金沢・富山 ☆名古屋⇄米原間逆編成



※この編成には485系初期形「雷鳥」増結セット（#10-242）を使用します

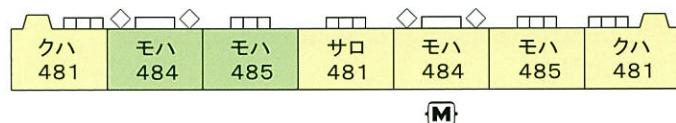


■加越 米原⇄金沢・富山

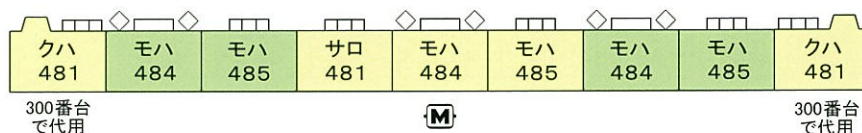
■しらさぎ 名古屋⇄金沢・富山 ☆名古屋⇄米原間逆編成



■北越 金沢⇄新潟



■有明 博多⇄熊本・西鹿児島 ※昭和55年頃



■にちりん 博多・小倉⇄宮崎



■かもめ 小倉・博多⇄長崎 ※小倉・博多⇄肥前山口間は「みどり」と併結



■みどり 小倉・博多⇄佐世保 ☆早岐⇄佐世保間逆編成 ※小倉・博多⇄肥前山口間は「かもめ」と併結

